

昨年引き続き30度越え残暑の九月です。しかし朝夕さわやかな風であり、灼熱と台風の地域の皆さんにお見舞い申し上げつつ「天塩においでよ」といった気分です。

アキアジが獲れ始めました。漁師さんはもとより、磯の投げ釣りや規制区域外のルアー釣りなど、私も夜討ち朝駆け、オホーツクから抜海まで走り回ったことがあります。熊には要注意で茸狩りも近郊の山では可能になります。ここまでコロナウイルスは追いかけて来ないでしょう。

国の交付金によるコロナ対策は、50%プレミアム商品券も完売し、病院発熱外来はインフルエンザに間に合うよう工事中です。二次対策で、消防救急業務や、感染対策避難所整備に始まり、農林水産加工施設整備や浴室の無い世帯の公衆浴場機能を持つ保養センターの井戸ポンプ改築など国に申請し一部着工しています。この後、町中で使用でき道の補助10%を上乗せした30%プレミアム商品券も検討しています。

「核のゴミ」で揺れている町があります。私はあるマスコミの取材に「本町の農林水産業とは相容れないので、私は申

し込みません」「北日本海・歴史的にも共通点が多く注視している」「賛成反対はノーコメント」と返答しました。少し前まで私たちの地域でも同様な問題があり、諸先輩・知友人や地域が二つに分かれそうになり、しかし、先輩町長たちは「慎重な姿勢」を保ってきた歴史があります。私もそうありたいと思っています。